

平成29年度 第1回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成29年7月23日（日）18時30分～

西部環境エネルギーセンター

押野、西南部、三和（校下、地区）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】 皆さん、こんばんは。

本日は、日曜日の夕方外出しづらい時間にもかかわらず、たくさんの方お越しいただきまして心から感謝を申し上げます。

朝、私もそうでしたけれども、激しい雨の音で目が覚めた方もいらっしゃるのではないかなと思っています。今現在、確認しましたら、大雨の警報は残っていますけれども、土砂災害の警報は解除されました。安心はしていけないかもしれませんが、情報はきちんと入る状態にしておきながら、しっかりと対応していきたいと思っています。

こういった中、やっぱり一番大事な情報は情報だなと思います。おそらくこの中にもたくさんいらっしゃると思いますが、私もぼうさいドットコムに登録しているので、注意報が出ました、警報が出ましたという形で、逐次情報が入ってきます。当然私は敏感に見ていますし、この段階ならともかく、避難準備という段階になったら、すぐ役所で対応をしなければなりませんけれども、その情報がなかなか入ってこない状態でしたら、ずっと不安なままだうしよう、そんな感じになっていることだと思います。逐次こうやって情報が入ってくることによって、何かしなければいけないことがあったとしても、気持ちの準備と態勢の準備だけはしておくことができる。これは市長じゃなくても、皆さんも同じであり、災害情報等には敏感になっていただければ、要らぬ心配がなくなるのではないかなということも改めて感じているところでもあります。もう既に登録されている方も多くと思いますが、ぼうさいドットコムの登録をいま一度お願い申し上げたいと思います。

今日は、押野、西南部、三和、この3校下の皆さんにお越しをいただきました。白山市、野々市市につながる交通の結節点でもあります。いなほ工業団地に多くの企業が進出をしてくれました。白山インターチェンジから工業団地を抜けてアクセスする交通車両が引き続き増加傾向にあるということもお聞きをしておりますし、きょうも交通、道路状態のことについて幾つか地元のご意見を、生のご意見をお聞かせいただけるとお聞きをしていま

す。まずは問題意識を共有するところから、その課題の対応策を、行政としてできること、また地域の皆さんのお力、ご理解をいただきながら進めていくこと、いろいろあるかと思えますので、そのことだけでなくいろいろなことについてもいろいろな意見交換をできればと思っています。

今日はどうぞよろしく願いいたします。

(2) 地域代表あいさつ

【三和校下町会連合会 会長 桶谷 隆雄 氏】

三和校下の桶谷でございます。「ともに考えよう まちづくりミーティング」ということで、4年に1回、今回は、ここの3つの校下ということで。

先ほど市長さんからご挨拶ございまして、いろいろな諸問題が地域、地域でございます。そういうことで、今日はいろいろな意見を出しながら有意義なミーティングにしたいと思っております。

また、今日は日曜日で、時間が変わったこともあり、人の集まりをちょっと心配しておったのですけれども、各校下の連長さん並びに地域の方々のおかげで多くの方が出席されまして、ありがとうございます。

そういうことで、今日は、先ほど市長さんからのご挨拶の中にございました地域のいろいろな問題点ということで、皆さん、気楽にひとつ何でも言ってもらえればと思っております。楽な気持ちのミーティングでありたいと思っておりますので、1時間半ほど、皆さんの地域のいろんな諸問題を、また市の幹部の方も今日は出席しておりますわけございまして、いろいろとまた意見を聞きながら3つの校下が住みやすい地域にしたいと思っておりますので、ひとつよろしく願いいたします。

簡単でございますが、挨拶といたします。どうもありがとうございました。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①通学路の安全について（押野校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【西南部校下町会連合会】

今、説明がございましたけれども、私がちょっと心配していることは、ここ数年、暖冬でありましたけれども、積雪時、特に踏切とかそういうところは、除雪の関係で子供が歩く場所が道路面に出てしまわないといけない。そうすると、どうしても安全が確保できないので、歩道とかそういうところの子供、弱者に対するそういう除雪について少し考えていただきたいです。

【磯部土木局長】

通学路などの歩道部における除雪によって安全を確保してほしいとのご要望かと思えます。

市内には、2,100キロ以上、市道延長がございます、歩道に関してもあるところだけで膨大な量がございます。そういった中で、通学路でありますとか子供たちの安全確保に重要なところから除雪の対応をさせていただいているところでもありますが、なかなか全てのところを全部というのが非常に難しい状況でございます。

金沢市の場合は、例えばJRを挟みまして海側と山側など降雪量も違いますので、そういった地域性も踏まえて除雪体制などを組んでいるところでございますが、歩道の除雪に関しましては、融雪装置というものなかなか設置がしにくいということもありますし、除雪機械を入れたとしても、雪を排雪する場所も難しいということもございます。全てのところを網羅的に対応することはできませんので、それぞれの地域にいろんな除雪の業者さんがいらっしゃいます。地域のそういう業者さんをご紹介、案内させていただいたりしていますし、また、どうしても地域の中で対応のできないような状況でありましたら、まず一度ご連絡いただいて、状況を見させていただいて対応をまた個別に考えさせていただきたい。

端的な説明ではないかもしれませんが、網羅的に全てをとというのは難しいということでもありますので、状況を見てどうしても地域で業者さんを頼ってもなかなか難しいとか、そんな状況がありましたら、また相談をかけていただきたい。

②生活道路の安全向上について（西南部校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【西南部校下町会連合会】

危険な箇所にはカーブミラーの設置があったのですが、カーブミラーの設置というのは道路管理課さんですよ。今年、街灯をかえてくれるというのは危機管理課ですよ。

うちの町会で何か所かあったのは、せっかくカーブミラーをつけていただいているが、照明が全て影になっていて、昼間はいいのですが夜は真っ暗です。LEDの照明というのは照射角度というのが決まっていますよね。だからどういうふうに取りつければどこを照らすかというのははっきりわかるはずですよ。

それを危機管理課のほうに電話したら、それは道路管理課がつけたからうちは関係ないという話をされた。次、道路管理課にかけると、地上から何メートルのところだからここにしかつけられないという話なのだけれども、ここはどのようなつけ方をすれば夜も明るくてカーブミラーが有効に使えるのかというのを考えて取りつけてくれないと、今年全て金沢市はLEDにかえるのに、カーブミラーとLEDがかぶったところは真っ暗になってしまう。そういうのは、つけた後で夜に回ってみて、どのような状況になっているのかということ市は確認してないのですか。

僕のところは、町会だけで4カ所直してもらいました。これが今、金沢市でLEDにみんなかえてしまうと、各町会の町会長が回って、ここがおかしい、あそこがおかしいといって二度手間、三度手間になるのですか。そこも説明していただきたい。お願いします。

【中川危機管理監】

今お話しいただきました防犯灯につきましては、今年度、ESCO事業ということで、金沢市内にあります防犯灯約3万9,000基、一斉にLED化をしようということで取り組んでおります。そうした中で、各町会の皆様方にもいろいろご照会をかけながら無駄のないような形でやっていきたいということでございまして、現在まだ正式に業者のほうと契約はしていませんけれども、基本的にはLED化の設置に当たりまして十分地元の皆様のご意向も確認しますし、事前に現地を確認をするということでございまして、決して二度手間、三度手間になるようなことのないように十分留意をしながら進めていきたい。

ちなみに、道路の照明、防犯灯というものと、あと道路管理者が主要な交差点等を照らす街灯というものと2つあるということでございまして、そういったものも当然お互いに無駄にならないように、どういったところに設置すれば一番効率的かというようなことも加味しながら、地域の皆様方と十分事前に調整をさせていただきながら工事を進めたいと

思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【磯部土木局長】

今、危機管理監が申しましたように、交差点に設置するカーブミラーの周辺にあります照明には二通りありまして、交差点の安全を確保するための道路管理者が設置する道路照明というものと、地域の防犯のための防犯灯。所管が分かれているということで、大変地域の方にその回答等でご迷惑をおかけしましたことは、今後も十分注意しなければならないと思っていますし、その辺は危機管理課と道路管理課のほうでもしっかり連携をとって、おっしゃっていただいたように、その場所に何が必要なのかというのがやはり大事なことでありますので、今後、道路管理の立場からも現地の安全確保ということを最優先して取り組んでまいりたいと思います。もし、まだここが問題あるのではないかということがございましたら、ご連絡いただけましたら、現場を確認した上で適正に対応を検討していきたい。

【西南部校下町会連合会】

もう一つお願いしたいのは、課は違っていいのですが、もうちょっと親切にしてほしい。僕らだって、どこかなと調べながらやっている。町会長なんて、僕のところは2年に1回かわっていく。だからまた一から、町会長がわからないからというのでかけたりする。そのときに、うちの課じゃないから、ではなくて、これは道路管理課だから私のほうから道路管理課にちょっと話してみます。連絡先を教えてください、そちらから連絡が入るようにしますとか、そういうふうにしてほしい。

市役所って、どこにかけても不親切。かけると、うちじゃないですからと言って。じゃ番号教えてもらえますかと言うと、教えてくれるときもあれば、うちじゃないのでと言って切られてしまうときもあって、本当に不親切。だからここはどうなっているかと思って、市長さんに聞きたい。

前も俺、図書館のときに聞いたけど、本当不親切やわ。親切な人もたまにいる。その人はちゃんと、私から報告入れます。また連絡するのでお待ちくださいとか、いい人もいますが、大半が不親切。俺らはそんな詳しく何課がどうかかはわからんから、もうちょっと親切になってほしい。そこをお願いします。

【山野金沢市長】

不快な思いをさせてしまったこと、まずはおわびします。申しわけございませんでした。

今おっしゃっていただいたように、親切な方もいるというふうにおっしゃっていただきました。それが当たり前にならなければいけないと思っています。今改めてご指摘もいただきましたので、市の中でもそれをきちんと伝えて、今おっしゃっていただいたような対応をきちんとさせていただきます。改めておわびさせていただきます。

③市幹線道路の騒音と振動について（三和校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【三和校下町会連合会】

前回の4年前にもこの問題を取り上げまして、その時にも、やはりこういう問題で、苗代市会議員らも通じて、現在は秋島さんを通しまして、市にお願いしています。土木局長は言っておるけれども、ちょっとずつしても全然効果がない。

七、八年前に1回、全面的に両面してくれた。そこ自体はずっと段差ができない。私がいつも陳情しておるのは、あそこを全面的にずっとやってほしい。それを言うたら予算がない予算がないという。ほかの校下の連中と話ししておったのだけれども、まちづくりの中の観光のことばかり道路に力を入れて、郊外のことには予算がない予算がないと。市内の予算は、いい街灯をつけたりして1億円やら5,000万円やら使っているけれども、我々の道路には予算がない。家が傷んでくる、外壁がひび割れしてくる、階段も段になったりする状況を、市の方と私で何回も立ち会いで話し合う。市の道路管理課の方が二、三人来て、こうやこうやと言いながらも、ちょっといいのにしてくれと言ったら、ちょっと工事して、ちょっと立ち会い頼むと2メートルほどして工事が終わる。はや終わったのか、これで終わったと、そういう状況じゃ、もう解決できん。

当初、平成25年のときに、全面的に予算を何千万とって、ある程度掘り起こして地盤改良しながらやっていきましょう、となっていた。それが全然なされないままで、ただ暗渠（あんきよ）のところだけして。暗渠のところはコンクリあるさかいもう下がらんけど、暗渠した次のところは、さっき言ったとおり1メートルほどしかしてないさかい、その間が段差になってしまっている。

もう少し、私の校下ばかりでないと思うけど、郊外型のそういう地域の苦情もある程度聞いてほしい。ずっと一生の間、そこに住む人のことを思ってもらわないと。今、二、三軒の家で外壁を直したりしている。壁がひび割れして、毎日地震やと。地震の震度2ぐらいはしょっちゅうやということを行っている。

先ほど言いました市の道路、昔は、ロータリーでとまっておったのですが、今は、いなほ工業団地ができ、白山インターができ、トラックターミナルもある。夜中の1時か2時ごろになったら、振動でみんなあの辺の住民の方は必ず目が覚める。私も西署へいつも行って、取り締まってくれ、道路標識も頼むぞと言っている。道路管理課の管轄の道路標識は道路管理に、ここ危ないさかい速度抑止してくれと言ったら、ここまでできるかなとか、いや、今回何百万しかないさかいどうやたら言う。それをもうちょっと市として真剣に、郊外に住んでおる者にも、少しでも何とかしてもらえなと思っておりますので、その点、どんな考え方でおるのか。

北鉄のバスが、いなほ工業団地まで行く、普通車はどうもないけど、でかいバスが毎日、朝けっこうな数が通って揺れる。私も見に行ったら、すぐにわかった。道路管理課の方も立っていたらすぐわかる。道路標識か何かで抑止してほしい。

秋島さんと道路に行って、ここの区間はスピード緩めて走ってくれとか、何かそんな協定を結ぶかという話をしておったのですが、大型の車を止めてという話も、ちょっと無理な話やし。市は、もう少し予算をとりながら長い区間で直してほしい。片一方したら今度は片一方して。何やら1メートル、2メートルばかりやっておっても、こんなもん焼け石に水なんや。

私もしょっちゅう道路管理課に電話して、頼むぞと言っておるけど、わしも歩いておったら、また振動ひどいわと、みんなからいつも言われるのだけどね。

それを一度、もう何年も前から言っている。ちょっと根本的に、本当に何か考えてもらえんかなと思っておりますので、そういうことでお願いしますね。

【磯部土木局長】

地域の皆様の切実な課題ということで、この問題は、おっしゃいましたように、我々としなくても平成20年と21年度に、かなりまとまったロータリーのところ、時の広場のところの交差点の部分でありますとか、安原川にかかる橋の前後でありますとか、主要な交差点のかなりの部分の舗装をやりかえさせていただいて、平成25年度から横断暗渠の上の部

分をやらせていただいていたところでは、平成20年、21年からかなり時間もたっているということもありますし、横断暗渠の上では限定的な効果しかないのではないかとということ。それから既に西警察署ともいろんな相談をされているということでもあります、我々といたしましても一定の対策はしているのですが、まだまだ不十分と。

路面標示も、私も実際走って見たのですが、速度注意という路面標示はされているところがございます。もっと踏み込んだ路面標示のあり方でありまして、標識とか看板。標識になりますと規制がかかりますので警察の管轄になります。看板でありますと道路管理でもできることがあると思います。もう少し踏み込んだ対応をできないか、我々といましてもさらに県警等と協議して、改めてどんな対応ができるのか相談させていただきたいと思います。今この場で何というのはなかなかあれかもしれませんが、地域の皆様の切実な思いでもございますし。

ただ一つ、私も現地を走ってみて思ったのは、やはり大型車両の速度を落とすということがまず一番効果があるのではないかと考えています。これは粘り強い対応が必要と思えますけれども、その辺も含めて県警等と協議させていただきたい。どうぞよろしく願いいたします。

【三和校下町会連合会】

あそこは大体40キロ。あんなところ、40キロで走る者おらん。それをちょっと頼む。

【磯部土木局長】

はい。わかりました。またしっかり対応させていただきたいと思います。

【山野金沢市長】

土木局長が今申し上げたことに尽きるわけですが、警察や、また4年前、覚えています。このテーマをご提案いただいたことも覚えていますが、まずできることを取り組んできたわけではありますけれども、冒頭の私の挨拶でも申し上げましたけれども、いなほ工業団地がほぼ100%に近い状態で埋まって、白山インターチェンジから抜けてくる車ということもありますので、今局長が申し上げましたように、少し長いスパンの丁寧な形でこのことをいま一度研究させていただければと思います。

【三和校下町会連合会】

関連で質問させてください。

せんだって市のほうにお願いをして、交通安全のために市道に、交差点部にクロスマークをつけていただきたいと言ったら速やかにつけていただいたので、感謝しております。

今、校下の問題として提案している振動の問題。騒音の前に振動の問題ですけれども、金沢市が道路をつくったりしているわけですから、この振動の問題について土木工学的に何が原因で何が弱いかというのは、設計も含めて全部わかっているはずですが、したがって、私は素人ですけれども、表面のアスファルトだけを厚くしても、路床とか路盤が弱ければ振動が周りに伝わりますし、あるいはアスファルトがひび割れしてくるとか、そういうことは十分技術的にわかっているはずなので、ここ四、五年間やってこられたということですが、既存の施工状態がどうであって何が悪いのかというのは、担当レベルでは、技術レベルでは十分わかっていらっしゃるのではないかと思います。

ご回答をお聞きしていますと、オーバーレイの話が出ていましたけれども、根本的には、すぐへこむのは道路の下が弱いから重さに耐えられないようになるので、そうなってくれば周りに振動が行くのは素人でもわかる話です。したがって、根本的には、支える道路の面の下を強化するしかないはずですが、そういったご説明がないものですから何かちょっと非常に曖昧で、例えば振動についても現地調査されているわけですから、現状でどれぐらいの振動があって、改善効果がどれだけあったかは全部役所の方はわかっているはずですよ。そういうことを表に出さないでこうやっておられても、費用対効果もそうですけれども、結果がこれだけ改善されるであろう、低減されるであろうという見込みで修理の設計をして施工をして、どうであったかを考えれば、おのずと表面だけをやっても無理だというのは思うのですが、そういう専門的な、技術的な見解はどうなっているのかをお聞きしたいと思います。

【磯部土木局長】

今皆さんが課題に直面しているこの道路は、都市計画道路としてつくられたところで、当然設計するときには大型車両が1日どのぐらいの台数で、それに応じたような舗装構成を想定してつくっているのは間違いないと思っています。

今、私、手元にその数字とか振動とかの根拠は持っていませんが、そういう当初設計したときの状況と、今、いなほ工業団地にたくさんの企業が張りついて大型車両がいっぱい

走るようになって、その当時の考えとそごが生じてきているのかいないのか、そういうことも含めて確認させていただきたいと思うのですが、その結果、例えばどういう対応をすればそういう大型車両の今の状況に対応できるかということは、恐らく何らかの答えは出ると思うのですが、先ほどもお話ありましたように、制限速度40キロのところ、それを守らずにたくさん走るといった状況は、そのことにかかわらず、やはり改善しなければならないことだとも思っていますし、検討はもちろん再確認いたしますが、とりあえずといえますか、すぐに対応できることは、それと並行してやる必要はあると思っています。そういう努力もすぐにやってまいりたいと思いますので、その辺も含めて検討していきたい。

【三和校下町会連合会】

もう一言だけ言わせてください。

今のお話ですけれども、今後調べてという話がありましたけれども、実際に平成25年度から工事をしているわけですね。対策工事を。対策工事の内容を決めるときには、今おっしゃられたような交通量であるとかいろんな問題を加味して、このような改修で軽減が図られるという見込みだからやっているはずなのに、今のお答えですと、これから調べてみますということになると、今までの補修している工事の内容は何に基づいた設計なのかなという疑問を感じました。

【磯部土木局長】

平成20年、21年に交差点部分の舗装をやりかえさせていただいたことと、それから横断暗渠の上の部分を作りかえ、もともとコンクリートが表面まで出ていたところをアスファルト舗装で覆うことによって周りのアスファルトと一緒になりますから、その改善につきましては、舗装構成そのものというよりは、いずれにしても必要な改良と思っていますので、まずできることからやらせていただいて効果を検証してという進め方をさせていただいたところだと思っていますので、そのこととは別に、根本的なことはまた検討させていただきたい。

【三和校下町会連合会】

先ほどからもご説明ありましたように、やっぱり振動がひどくて、何遍も補修されているのですけれども、そのときだけの話で、すぐまたもとに戻るといって、この間、金

沢で震度2の自身がございましたね。午前中でしたか、誰かから、きょう地震あったよなと言われたのですが、いつもそういう形で揺れておるものですから、2があった。えっ、何。この間バス通ったのではないのかというようなことで、2があってもわからないというような状況で毎日過ごしているような状態なものですから、ひとつ大変でしょうけれども、またお願いしたいということで、住んでいる者からお願いするものでございます。

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

(4) 共通課題についての討議

空き家対策について（西南部校下）

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【西南部校下町会連合会】

ホームページで空き家バンクの補助制度等を見せていただいたのですが、空き家バンクの登録件数が、今日、現在で、金沢市に限ってですけれども、一戸建てについては6件、マンションが17件と、今の空き家の総数から比べてえらい少ないかなというような気がするのですが、不動産業者等への周知は十分になされていらっしゃるのでしょうか。

【木谷都市整備局長】

今の件、おっしゃるとおりです。周知はしています。不動産業者の協会としてはご理解いただいて、個々の業者さんのほうとかにもお伝えいただいておりますので、正直申しまして、自分のところでできるといった物件については、どうしても囲い込みといいますか、なかなか出していただけないという状況があることも確かです。でも、そうやってちゃんと不動産屋さんにかかって空き家が空き家でなくなるという、これが目的なので、必ずしもうちの空き家バンクに載ることが目的ではないので、そういった意味で、ちゃんと責任持って不動産業者の方が空き家でなくしてくださるということになっていけばいいのですが、バンクの状況についてはそういった状況があるということもあります。

今後、実際そういうふうな不動産屋さんのほうで出ている空き家の借りられ具合といいますか、そんなことももう少し調べていきたいなという思いもありますし、うちのバン

クの運営自体含めて、より空き家が空き家でなくなるという目的に向けてどういう方法がいいかは、あわせてまた少し検討させていただきたい。

【西南部校下町会連合会】

相続問題で、所有者がなかなか特定できないケースがあるということでしたが、その際の固定資産税なりの課税はどうされているのでしょうか。所有者が特定されていない不動産について。もし課税されているのなら、これは売買まであつせんするということにはならんでしょうけれども、管理費出してちょうだい、いいのに管理してちょうだいとお伝えしていただくことは可能かどうかということをお尋ねいたします。

【木谷都市整備局長】

課税の関係も所有者探しの非常に大切なツールでございます。残念ながら、それで知ったからといってお伝えするわけにはいかんというのは先ほど申しましたとおりです。そういった形で、その物件に対する所有者の足がかりがつかめたところに関しましては、その方とお話をして、まずは日々の適正な管理というお話はさせていただいております。うちが扱っているものは、必ず地元の方々から、こういうふうに困っているよという形でお知らせいただいた物件を対象にしておりますので、その辺の内容は伝えさせていただいております。

ただ、ここで先ほど言った法的な話とかというときに難しいのが、実際、課税は受けてくださって払ってくださっているのですけれども、その物件自体の所有者という法的な形になると、課税している人だけ一人というケースでないケースがままある。相続がきちんとされていなかったりして。でもそういう物件があるということで代表的な方がお支払いいただいております。実は法的には相続権で探していくとまだほかに4人、5人いるといったような形もあります。そういったような話があって、今申しました本当の所有者の特定ということはかなり難しいケースが多いことは確かです。そういった結果として空き家になっているといったのも、そういった順番のものもあろうかと思っております。

いずれにしても、日常的な管理や何かにつきましても、その後の所有者の方々とあわせてお話も含めて、まずはたどり着ける方、例えば登記の名義、課税の状況とかそういったようなことをしっかりと探しながらやっていきたい。

それと、その中で、それでもやっぱり結構大事な情報ツールというのが、ご質問いただ

いた中で出てきましたご近所の方々がそれまでのおつき合いの中でどういう方がかかわっておられたかといったようなこともすごく大切な情報になってきますので、また本当に町会の皆様方にもそういったような情報とといいますか、日ごろのコミュニティとかそういったようなものが結果的には空き家の問題をなくすということにもつながっていくのかなと思っておりますので、またご協力のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

(5) その他質疑応答

【押野校下町会連合会】

地域の高齢者の支援対策についてひとつ、私のほうからお願いがございます。何かといいますと、地域のコミュニティの路線バスの運行をお願いしたいです。

現在は金沢市内においては、此花、菊川、材木、長町という4路線はかなり運行しているのですが、私ども市街地でございますので、正直申しまして北鉄の路線バスの本数が1日約15本分弱ということで、これから高齢者になってきますと、買い物、通院、高齢者施設への参加というものがなかなか難しくなってくると思う。これから2025年問題も絡んできまして、高齢者が今現在でも4人に1人という現状でございますので、なかなか数字は読めないと思ひますけど、こういったことを山間地の方は私どもの地域以上に問題は大きいと思ひますけど。

さらに、ここ最近、高齢者の交通事故が多発しておる。その上で、やっぱり警察においては免許証の返納ということがやかましく促されておりますね。これにつきまして、私どものような交通の不便な地域において、返納した後、高齢者が中心部へとか、それから近隣の買い物等々がなかなかできない状況だと思ひます。こういうのを放置しますと、だんだんひきこもりの状態が続きまして高齢者の孤独を助長するように、私、個人的に思うのですが、この辺をよく検討していただきまして、何かいい策はないかお願ひしたい。

現実に金沢市で行っています地域安心生活支え合い事業というのを推進しておりますけれども、これに対して、やはり行うにしても、担い手の不足というのがかなり深刻な、私どもの地域では問題が出ております。こういったことをひとつ考慮していただき、どうかひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

近隣の野々市市におきましては、何ルートかのコミュニティバスが動いておりますので、たまたま私ども野々市市と隣接してしまひて、いつもうらやましく思っている状態でございますので、この点、ぜひ即刻いきませんと思ひますけど。

ただもう一つ、この間、聞いた話では、集約都市形成計画といった計画がありますね。そういったことがあるので、これはまだまだ先のことでなかなか、幹線に住宅を全部持っていくというお話もございましたが、これはなかなか、それまで行くまでの間、申しわけないですけど、コミュニティバス等の運行をひとつぜひお願いしたいということでございます。よろしく申し上げます。

地域によって、三和さん、西南部さんは、多少利便性は私どもよりすぐれているかと思えますけど、私どものほうはちょっとやはり交通の便が少し足りないのではないかと思いますので、これは市だけの問題では解決できませんけど、北鉄さんのほうのお話もお願いしたいと思います。

ただ、もう一つつけ加えたいのですが、何年か前に西南部さんのほうからバス路線の開設について、中央病院ですか、そこへ行くために路線バスの新設を3校下でお願いしたいとか、何かそういうお話もございましたので、ちょっとそれもつけ加えてお願いいたします。よろしく申し上げます。

【平嶋都市政策局長】

都市政策局でございます。まず、何点かご質問いただきまして、ありがとうございます。

コミュニティバスですが、金沢市で現在運営しているコミュニティバスにつきましては、これまでの歴史的な経緯等々もございまして、基本的には旧市街地のバス路線で廃線となったところの高齢者の方々、地域の方々の足の確保ということを目的に運営しているルートというのが基本となっております。

それから、現在、郊外部の中で、地域の中でバスの便が非常に悪いところ、いわゆる不便地といいますか、そういった部分につきましては、地域の方々による自主運営というものを金沢市内では現在2地区で実施しておりまして、そこについては市のほうで応分の負担もさせていただいております。また、そういったような地域的な偏在の中でバス路線を地域として何か運営をしたいといったようなことがもしございましたら、交通政策課のほうへまたご相談もいただきたい。

それから、まさに昨今、高齢者の方々の交通事故というのが非常に大きな社会問題になってきております。免許返納、今ご指摘いただきました。警察のほうでも積極的な取り組みを進めておりまして、市としても、免許を返納された方に対しての公共交通の定期券への支援を今年度から厚くして、さらに登録していただいた商店街のほうで優遇サービスも

受けられるような施策をここの秋から実施をしたいというふうに思っておりまして、現在準備を進めております。

ただ、そうはいっても身近なところで、例えば買い物であったり病院であったり、そういった部分というのは、やはりご高齢の方々にとっては切実な問題でございます。それをどう今後の高齢社会の中で確保していくのか。そのあたりについては、交通だけではなくて福祉的な面や、いわゆる商業店舗等々の課題でもありますので、今年、庁内でワーキングチームをつくって、今後の地域の足の確保ということについて、高齢の方々の足の確保ということを中心として庁内チームの中で検討を進めていって、どういう形を目指していくのかということ今年度から検討を始めることとなっております。

北鉄さん等へのバス路線の新設につきましては、過去の経緯もまた確認をしたいと思っておりますけれども、また改めて要望等々がございましたら、市を通じてまた北鉄さんのほうへもお話もしていきたいというふうに思っておりますけれども、民間事業所としての交通事業者としての関係もございますので、まずは現状ということをお聞かせいただいて、北鉄のほうへまたお話もしていく機会があればと思っております。

【山野金沢市長】

私のほうを見ながらご質問いただきましたので、私のほうからも。

答弁そのものは局長と同じになりますけれども、まちなか、我々は「ふらっとバス」というふうに言っていますが、コミュニティバスを。郊外の部分というのはなかなか厳しいと思っております。

ただ、内川地区と大浦地区は、地域の方がいろいろ工夫なされてバスをつくってくれています。当然、今年度からまた少し、これまでも市がいろんな応援メニューをつくっておりましたけれども、今年度からさらに充実させていただいたところでありまして、実は幾つかのところから、我が地域でもそういうものをというご提案もいただいているところでもありますので、何とかそれが実現できればなという思いでいるところでもありますし、ぜひまた地域、町内会長さん、また交通のことでもあるので、地域だけじゃなくて、市の担当者も来てくれ、場合によっては警察の人も立ち会ってくれということもあるかと思っておりますので、おっしゃっていただければすぐそういう形で対応させていただければと思っております。

それともう一つ、これもやっぱり局長の繰り返しになりますけれども、どうしても交通、

交通ということになりますけれども、これはもう福祉という側面で交通施策というものを考えていかなければいけない時代にもなってきているというふうに思っています。それは我々も切実に思っているところでもありますので、これまでは交通弱者という視点から公共交通のあり方を考えてきていましたけれども、これからはより福祉的な側面からも地域の足の確保というものを考えていかなければいけないという問題意識を強く持っていますので、そこもこれから、これも地域の皆さんのお声をお聞きしながら、どんなことができるのか、全国で取り組んでいるところがあるようでしたら、全国で参考になるようなところも調べていきながらしっかりと研究していかなくてはならないなという問題意識を持っています。

【三和校下町会連合会】

先ほど質問した中で、生活道路の白線とかマークについて迅速に対応していただいて感謝していると申し上げたのですけれども、今から申し上げることは、直接市に対するお願いということだけではないのですけれども、ちょっとお話しさせていただきたいと思いません。

私、車で結構走ってまして、去年までは東京あるいは日本中いろいろレジャー等々でドライブしていました。

まず1点、運転手のマナーのことですけれども、金沢はやはりひどいという印象をつくづく思いました。ちなみに、瀬戸内海のどこかの県がマナーの悪いのは自分のところが日本一だとか言っていましたけれども、たしか岡山県だったかどこか言っていたようですけれども、金沢は私、自分が乗っていて非常にひどいと。特にひどいのは進路変更ですね。車線変更してからランプを出す人はまだましで、何も出さずに割り込んで、人が割り込んでくると詰めて入れてやらない。根性悪いというのを非常に痛感しております。

それで何を言いたいかというと、確かに運転手のマナーは、金沢はひど過ぎると思うのですけれども、やはりそれは私たちを含めて啓発していかなければいけないと思っているのですが、道路の例えば線が描いてありますね。センターラインであったり横断歩道であったり、あるいは道路の端の線であったり、さまざまな表示がされています。これは管理して修理をする部分が国であったり県であったり市であったり、あるいは警察であったり、それぞれによって全部分かれていると聞いていますけれども、金沢市内を走ってみると、どこが責任を持つところかわかりませんけれども、はげてしまってほとんど見えない

横断歩道とか。横断歩道は多分警察ですけれども。あるいはセンターラインとか車線の幅が消えかかっているところとか、結構ある。でも自分の町内なら、何とかしてほしいと言うのですが、人の町会なり違う校下ならそんなことも言えません。ましてや幹線道路でしたら本当にひどいところもあります。別に金沢市に限ったことでなくて野々市行ってもあるし。

言いたいのは、運転手のマナーが悪くなる遠因といたしますか、その背景の中には、道路のそういった標識なり表示もかなりルーズじゃないのかなという気もしてまして、線が見えないような、雨降って特に暗くて見えないようなところだったら、事故のもとですし、いろんな意味で歩行者、弱者の対策、交通安全、いろんなことを考えて、新しい立派な道路をつくることも大切でしょうけれども。かつてはもっと丁寧に、頻繁に線をきれいに引いておったような記憶があるのですが、いま一度、観光都市として金沢を売り出しているんなことをやっていく中で、基本的なそういう道路の線とかああいうものをきちっと管理するなど、あるいは国、県、警察のほうに市内の道路について巡回して気がついたらどんどん言ってほしいなという気持ちです。

それによって少しはドライバーも、きちり線が引いてあるから守らないかんのじゃないかという気もするが、みんなルーズになったら守らなくて、最後は歩行者なりなんなりが痛い目に遭わないかんというような気がしてなりません。

これが、ここ四、五年、真面目に私も制限速度を守るようになってから感じた次第です。

【山野金沢市長】

私は55ですけれども、学生時代、そしてサラリーマンのときも東京で車を普通に運転していました。何かのタイミングで金沢に戻ったら、おっしゃるとおり、金沢、石川県の交通マナーは本当にひどいなと、30年前からずっと思っています。最近よくなったのか悪くなったのかは、ちょっとピンときませんが。直接的な原因はわかりませんが、残念ながら同じ思いを持っているところでもあります。

その原因の一つとして、道路標識や道路の舗装等々が、今ご指摘を受けたらそういう側面も、もしかしたらなきにしもあらず、なのかなという思いもいたしました。改めて、先ほど来ご指摘をいただいている道路の路盤のことであつたりだとか、さまざまな標識のことであつたりだとか、また先ほども厳しいご意見をいただきましたミラーと街路灯との関係であつたりだとか、そういう直接交通マナーに関係あるかどうかは別にして、そういう

ものも遠因としてもしかしたらあるのかもしれない。そんなことも今お話をお聞きして感じましたので、一つ一つ対応していくことによって、もちろん啓発活動もしていかななくてははいけませんけれども、できることもしっかりとやっていきたいと思っています。

【西南部校下町会連合会】

何年か前に、よく事故の多い横断歩道等のところには道路に何か埋めてLEDか何かのパパッとつくようなやつをやって、あれはすごいなと思ったのですが、壊れたらそのままずっと直されない。だから今後もそういうこともやっていくのか、それは試しでやって、もう壊れたらいいやと思っているのか、どんな感じですかね。あれはすごい効果があると思う。せっかくいいのに壊れていてもほったらかし。これは逆に言ったら調査してないのですか。

それで修繕で予算がとかと言うのだったら、先週末、ごみの説明会をどうですかと自宅まで来た人が、環境課の人かな、自転車で汗だくで来た。この人を見たら、この人に予算がないと言われたらしようがないと思うのだけど、この間は逆に、道路か何かの修繕で調査したとき3人で来て、別に3人で来る必要はないのでは。それだったら一人一人か、2人ペアでもいいけど回って、もっと今よりも早く確認すべきと思う。民間だったらあり得ない。ただでさえ、人件費削減とかやっているのに、3人でたらたら回っているのだったら、2人、1人に絞って、もっと広範囲でチェックしてほしい。別にそれを自転車で県内回れとは言わないけど、自転車で回っているその人、すごく感心したし、今度ごみの説明会してくれと言ったら、わかりました、すぐしましょうという話になる。だからそういうのをやっぱり見せてほしいです。

だから、全部が悪いと言っているわけじゃないけど、鎌かいているところが多い。そうすると、僕らも町会を支えるなかでリスクを背負ってやっているのに、何かそういうのを見るとすごいがっかりする。そこは、また市長さんに聞くけど、そういうのは理解されていますか。

【山野金沢市長】

3人で行っている云々ですか。

多分、僕、状況を見ていませんけど、ごみ収集の流れの中でお話しされたことじゃないでしょうか。確認しますけれども。ごみ収集とかは3人でやらなくてはいけないとか法的

なものなどがありますけれども、基本は、日程調整とかだったら1人で行くことはありますけれども、今おっしゃっていただいたように、僕はやっぱり2人で行くことが大事かなというふうに。結構、町会長さんとお会いするときは安心できますけど、いろんな市民の皆さんがいらっしゃいますので、原則、市民の皆さんのところに行って直接お話をするときには、目的が明確なときには1人で行ったりしますけれども、原則2人で行くような指導も我々も受けていますし、そういうふうにさせていただいているところであります。

極力、無駄なことは避けるようにするのは当然のことだというふうにも思っていますし、ふだんからそういうことは言っておりますし、もし市民の皆さんから見て、これはおかしいというご指摘があるようであれば、具体的におっしゃっていただければ。原則ないようにしていますよ。ないようにしていますけれども、残念ながらこれはやっぱり無駄じゃないかなとか、これはあり得ないということでしたら、おっしゃっていただきましたら、一つ一つきちんと対応していくことによってそういう不快感や誤解を与えないようにしていきたいと思っています。

【磯部土木局長】

ご指摘の交差点部などに埋めてあるLED型のデリネーターだと思うのですが、本当に安全施設として大事なものでございます。それを破損したまま放置されているというところがございましたら速やかに修繕いたしたいと思います。もし道路管理のほうで見逃しているところ等がございまして地域の皆様がもしお気づきでありましたら、すぐご連絡いただければ、早速確認の上、対応したい。

それから、例えば道路管理のほうで、3人でパトロールに出るケースということは、市長が申し上げたように通常は2人ということなのですが、たくさん、例えば要望に応える場合に、複数の場所、自分の担当のところはここで、この人はここで、方面が一緒だったら一緒に出て一回りで処理してこようとか、いろんなケースがあると思います。道路管理、今日のような大雨が降ったりとか、内水の河川なんかも一緒ですけど、そういうときは現地での作業が発生したりしますので、そういう場合は3人出るとか一定のルールで動いておりますので。そうではなしに普通のとくに3人というのは気をつけたい。

その辺は、現場を抱えているところはそれぞれの事情がありますので、私のほうから市民の方はそういう目で見ているということは申し伝えたい。

(6) 市長まとめ

【山野金沢市長】

本日は、多用のところ、いろんなご意見をいただきました。ありがとうございます。

今年の1月2日朝6時過ぎに、武蔵のところで水があふれて丸1日道路をとめたということ、大きく報道もされました。覚えていらっしゃる方も多いかというふうに思います。実は、水があふれて真っ先に連絡をいただいたのは、あそこをよく走っていらっしゃるタクシーの運転手さんでした。いつも走っている道とちょっと様子が違うということで、企業局もすぐ行って、警察もすぐ来てくれて交通をとめて、すぐ工事をしました。丸1日工事にかかりましたけれども、幸いなことに早い段階で連絡をいただいて、我々も警察も早い段階で対応できたことによって、いわゆる人的な被害は全くなく対応することができました。

これが市の職員が気づくまでとなってくると、もしかしたらもっと多くの方にご迷惑をおかけしていたかもしれません。現実問題として、まちなか、市内にも多くの市の施設、県のもの、国のものがあります。24時間365日、県の職員、市の職員、国の職員が見ていることはできません。やはりその地域で日常生活されている方、住んでいる方、お仕事をされている方、そんな方たちが見ていただいて、ちょっといつもと違うぞと、そんな段階で、早い段階でご連絡をいただくことによって、我々がすぐに対応することによって最小限の被害に抑えることができますし、早い段階でしたら、被害というものになる前の段階で対応することができるのだと思っています。

そのためには信頼関係がなければだめです。先ほどおっしゃっていただいたように、汗を流して一生懸命頑張っている職員を見たら、おお、わかったというふうに言ってもらえる。そんな信頼関係というものが大切だというふうに思っています。幾つかご意見もいただきました。すぐ、はい、わかりましたと言えるものもあれば、なかなか厳しいかなというものもありますけれども、ただ、こうやって意見交換をしていく中で信頼関係をつくっていかねばいけないというふうに思いますし、市民の皆さん方から信頼関係を持っていただかなければ市政というものは、県政も国政もそうですけれども、動いていきません。是非いろんな機会を捉まえて皆さんのご意見もお聞かせもいただければと思いますし、全てがはい、わかりましたという形で対応できるものでないかもしれませんが、必ずリアクションはさせていただきます。必ずご返事をさせていただく中で信頼関係をつくって行って、お互いにいいまちをつくっていくために努力をしていければというふうに思い

ますし、きょうのこの「ともに考えよう まちづくりミーティング」がその一助になることができたとするならば大変うれしく思うものでありますし、引き続き皆さん方と一緒に取り組んでまいりたいと思います。

本日は、ご多用のところ、そして夜の遅い時間、足元も悪い中、たくさんの方にお越しいただきまして、いろんなご意見をいただきました。改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。